

科目別	開講区分	単位数	学部別取扱											
			法	商	政	文	理	農	営	情	国際	総合		
アラビア語ⅡA	半期	1	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
アラビア語ⅡB	半期	1	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
Intercultural Communication(English) I A	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
Intercultural Communication(English) I B	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
Intercultural Communication(English) II A	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
Intercultural Communication(English) II B	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
国際理解講座・ドイツ語圏 A	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
国際理解講座・ドイツ語圏 B	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
国際理解講座・フランス語圏 A	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
国際理解講座・フランス語圏 B	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
国際理解講座・中国語圏 A	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
国際理解講座・中国語圏 B	半期	1	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	
English Intensive Course	集中	2	○	◎	◎	○*	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	
English Intensive Course	集中	2	○	◎	◎	○*	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	
English Intensive Course	集中	2	○	◎	◎	○*	◎*	◎	◎	◎	◎	○	◎	
ドイツ語会話Ⅰ(集中講座)	集中	2	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
ドイツ語会話Ⅱ(集中講座)	集中	2	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
ドイツ語会話Ⅲ(集中講座)	集中	2	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
フランス語会話Ⅰ(集中講座)	集中	2	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
フランス語会話Ⅱ(集中講座)	集中	2	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
フランス語会話Ⅲ(集中講座)	集中	2	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
中国語会話Ⅰ(集中講座)	集中	2	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
中国語会話Ⅱ(集中講座)	集中	2	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
中国語会話Ⅲ(集中講座)	集中	2	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	

*1) 留学生については、●となります。

*2) 留学生については、◎となります。

*3) 春期集中講座については、○となります。

*4) 国際教育センター主催の短期海外研修で学部間共通外国語として単位付与されるものについては、●となります。

【記号の見方】

○：学部間共通外国語科目としてのみ履修ができる（卒業要件外）科目。

◎：卒業要件に含めて履修する（取扱1）ことも可能な科目。

●：卒業要件に含めて履修する（取扱2）ことも可能な科目。

☆：卒業要件に含めて履修する（取扱1および2）ことも可能な科目。

【学部別「学部間共通外国語科目」卒業要件単位への単位認定取扱】

この取扱いは、2022年度入学者を対象としています。

ここでは便宜上、次の2つに分けて概要を説明します。

【取扱1】

学部間共通外国語科目を、学部の卒業要件単位数に含める。

【取扱2】

学部間共通外国語科目を、学部が指定する特定の科目に振り替える。

(この場合も卒業要件単位数に含まれます。)

上記の取扱いをするか否かは、学部で決定しています。したがって、詳細は、学部から配付される便覧・シラバスで確認してください。

1. 法学部

【取扱1】

単位修得した場合に、上限はありますが、以下の科目を除き、卒業要件単位に認定します。また、単位認定を希望する場合は、4年次に所定の手続をとる必要があります。(詳しくは法学部シラバスを参照のこと。)

(卒業要件外科目)

- ・ 資格英語、資格ドイツ語A・B、資格フランス語A・B
- ・ Intercultural Communication (English) I A・B、II A・B
- ・ 国際理解講座(ドイツ語圏・フランス語圏・中国語圏) A・B
- ・ English Intensive Course I・II・III
- ・ 集中講座(ドイツ語会話・フランス語会話・中国語会話) I・II・III

【取扱2】

取扱いはありません。

2. 商学部

【取扱1】

学部間共通外国語・国際協力人材育成プログラム・日本ASEAN相互理解プログラム・グローバル人材育成プログラムについて、2018年度以降入学者は合計4単位までをフリーゾーンの単位として卒業に必要な単位数に含めることができます(ただし、必修外国語の振替対象科目は除く)。卒業に必要な単位数に含める場合は、1年次～3年次の間に卒業要件外として履修・修得した単位を、学生からの申請に基づき、4年次の春学期に卒業要件に算入します。4年次の申請により卒業要件への算入を認められた単位は、4年次の履修制限単位数に含まれます。手続きの詳細については必ず商学部事務室窓口にて確認すること。

【取扱2】

ドイツ語会話II A・B、ドイツ語会話III A・B、フランス語会話II A・B、フランス語会話III A・Bを2年次において、2単位まで、学部の科目に振り替えて履修することを認めます。

3. 政治経済学部

【取扱 1】

学部間共通外国語科目の修得単位は、政治経済学部の外国語科目における卒業に必要な単位数に算入します。ただし、ロシア語・韓国語・古典ギリシア語・ラテン語・イタリア語・アラビア語は政治経済学部の選択必修科目である2言語として履修することはできません。詳細は「政治経済学部シラバス」を確認すること。

【取扱 2】

取扱いはありません。

4. 文学部

【取扱 1】

◎の科目について、卒業要件（選択科目）に含めて履修することを認めます。ただしこの取扱いを希望する者は、履修登録前に、文学部窓口申し出ること。詳細は「文学部便覧」を確認すること。

【取扱 2】

English Intensive Course I・II・IIIのうち、国際教育センター主催の短期海外研修で学部間共通外国語として単位付与されるものについては、学部の科目に振り替えて履修することを認めます。ただしこの取扱いを希望する者は、履修登録前に、文学部窓口申し出ること。

5. 理工学部

【取扱 1】

以下の科目を除き、2単位まで、卒業要件に含めて履修することを認めます。

- ・資格関係科目
- ・English Communication I A・B・C
- ・English Communication II A・B・C
- ・English Intensive Course I・II ※夏期集中講座
- ・English Intensive Course I・II・III ※春期集中講座

【取扱 2】

English Communication II A・B・C、III A・B・C、ドイツ語会話 I A・B、II A・B、フランス語会話 I A・B、II A・B、中国語会話 I A・B、II A、B、ロシア語会話 I A・B、II A・Bについて、2単位まで学部の科目に振り替えて履修することを認めます。

【取扱 2】（外国人留学生対象）

English Communication I A・B・C、II A・B・C、ドイツ語会話 I A・B、II A・B、フランス語会話 I A・B、II A・B、中国語会話 I A・B、II A、B、ロシア語会話 I A・B、II A・Bについて、2単位まで、学部の科目に振り替えて履修することを認めます。

6. 農学部

【取扱 1】

◎の科目について、4単位まで、卒業要件に含めて履修することを認めます。

このうち、English Communication I A・B・C、II A・B・C、III A・B・C、English Intensive

Corse I・II・IIIで修得した単位は、農学部を選択必修英語の修得単位に含めることができます。

【取扱2】

取扱いはありません。

7. 経営学部

【取扱1】

修得した単位は、経営学部の外国語科目における卒業に必要な単位数に算入されます。詳細は入学年度の「経営学部便覧」を必ず確認すること。

【取扱2】

取扱いはありません。

8. 情報コミュニケーション学部

【取扱1】

単位修得した場合に、上限がありますが、学部設置外の卒業単位認定科目に含めることを認めます。詳細は「情報コミュニケーション学部シラバス」を確認すること。

【取扱2】

取扱いはありません。

9. 国際日本学部

【取扱1】

◎の科目の中から8単位まで卒業要件（自由選択科目）に含めて履修することを認めます。

詳細は「国際日本学部便覧」及び「国際日本学部シラバス」を確認すること。

【取扱2】

取扱いはありません。

10. 総合数理学部

【取扱1】

取得した単位は、全て卒業に必要な単位数に算入することができます。

【取扱2】

取扱いはありません。